

海外出向者 赴任前に推奨される予防接種項目の検討

(2026.4現在)

各拠点ごとに必要な接種項目と概算金額《成人用》

名鉄病院予防接種センター推奨・参考資料

ワクチン費用は税込み1回の費用。概算項目には国産ワクチンで記載したが、実際は輸入ワクチンを推奨することが多い。日本脳炎とDPTは国産ワクチン優位。先進国はTdapを推奨。
 【◎必要、○推奨、△条件付き、×不要 など】 ◎は会社負担してあげてください。特に必要なものです。できれば○も負担ください。

接種項目	1回接種費用 国産(税込み)	A社の拠点営業所のある国へ渡航時推奨ワクチンの種類							参考地域			
		アメリカ	タイ	中国	ベトナム	インドネシア	メキシコ	インド	ドイツ	チェコ	ブラジル	ケニア
A型肝炎	18,000円	○/×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○/×	◎	◎	◎
B型肝炎	5,500円	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ポリオ	9,500円	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○
日本脳炎	6,700円	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	×	×	×
破傷風	4,500円	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DPT	7,500円	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	4,900円	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
狂犬病	15,500円	×	○	○	○	○	○	◎	×	×	◎	◎
腸チフス	10,000円	×	×	×	△	△	△	◎	×	×	◎	◎
4価髄膜炎	23,300円	×	×	×	△	△	△	○	×	×	○	○
ダニ脳炎	15,000円	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	×	×
黄熱	23,300円	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎
麻疹風疹おたふく かぜ水痘抗体検査	5,200円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
麻疹/風疹	9,000円	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
水痘	7,500円	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

より有効で有用な輸入ワクチンの費用と回数

《初診料・選定療養費は不要》
 輸入A型肝炎:12300円、輸入A型肝炎B型肝炎混合:14000円、
 輸入B型肝炎:8000円。輸入A型肝炎は2回、B型肝炎、A型B型混合は3回
 成人のB型肝炎は輸入を推奨。2回で輸入は80%、国産40%程度有効
 国産ワクチンが優秀で安全。海外では入手不可能。渡航前に1-2回済ませる。
 破傷風の流行はなく、単独接種は無意味で無用。必ずDPTで追加する。
 DPT(ジフテリア、破傷風、百日咳)三種混合 先進国用/留学期間 Tdap:10000円、
 北半球南半球で流行季節を考慮。百日咳は世界中、ジフテリアは途上国で流行。
 より安全有利な輸入Verorab:12500円、国産は3回接種、輸入なら2回で可。ベトナムは3回。
 腸チフスは旧型のTyphimViが認可されたが、Typhbar:10000円を推奨
 輸入Nimenrixは:15000円、公務員(自衛官、警察官)は国内認可を利用。
 輸入のFSME-immuneと同等ワクチンが国内認可された。タイコバックTicoVac 15000円
 yellow card費用を含む。生涯有効。
 初診時に麻疹風疹おたふくかぜ水痘抗体検査をして不足のみ追加。
 抗体検査は4種類で5200円、結果は最短3-4日で判明し電話回答可。
 輸入MMR《麻疹風疹おたふくかぜ》3種混合は10000円
 おたふくかぜ:6000円、風疹:6000円。《検査のみ希望時は相談料として3300円》

渡航ワクチンの選択は個人で異なります。渡航地域や期間、年齢と行動、そして接種記録(母子手帳や先回渡航時)によって、必要な種類とその間隔を専門的に判断して接種します。
 母子手帳が手に入れば持参、あるいは内容を写メッテ来てください。以前の渡航ワクチン記録もあれば持参ください。遅れないように計画しましょう。事前のメール相談可能です。

国産/認可ワクチンの成人接種回数

A型肝炎	3回	水道水が飲めない地域は原則必要。米国の南西部の州は推奨。中南米への出張者は必要。国産は3回、輸入は半年あけて2回。
B型肝炎	3回	世界中で定期接種。米国でも生直後(翌日)に1回目を始める。陽性キャリアーが多いので、途上国では3回接種後に陽転確認を推奨。国産B型肝炎は成人には不十分。輸入単独、A型肝炎混合を推奨。
ポリオ	1-2回	日本人はOPVで2回で30年以上有効。75-77年生まれば1-2回の追加を推奨。インド周辺・中東・アフリカ渡航には1-2回追加。 留学は4回接種、且つ4歳過ぎに1回の接種証明を要求。
日本脳炎	1-2回	アジア(東・東南・南)は流行地域。インドとその周辺地域は特に注意。近年オーストラリアでも流行がある。 基礎免疫があり、最終から20年以内は1回、それ以上は2回追加。国産で済ませる。
麻疹/風疹	1回	接種回数ではなく、初日に「麻疹風疹おたふくかぜ水痘抗体検査」で陰性のもののみを追加する。十分な免疫があれば不要。2回接種済みでも30%は陰性。直接接種は無駄が多い。
水痘	1回	水痘は罹患記憶が比較的確かではぼ間違いない。しっかりした記憶や記録があれば不要。 異なる生ワクチンの接種間隔は、4週間以上、同じ種類は2-3か月あける。
インフルエンザ	1回	渡航する地域と季節で検討。南半球は日本の初夏から夏季に流行。 突然の新型変異には緊急接種で対応。
破傷風	0回	破傷風単独は渡航ワクチンとしても無用。接種する意義はない。接種記録が不明なら、年齢によってDPTまたはTdapで接種計画する。1か月開けて2回接種、1年後に3回目。 DPT(ジフテリア、破傷風、百日咳)三種混合またはTdap《成人/先進国用DPT》で通常は1回追加する。インドとその周辺はポリオ(IPV)を追加したい。
狂犬病	3回	曝露前接種(事前接種)は原則2回とその英語表記の接種記録が必要(2018/WHO)。その場合も哺乳類に咬まれてから2-3回の追加接種が必要。 ベトナムは事前に3回接種して記録を持参する。他は原則2回の曝露前接種記録で10年ほどは有効とされているが10年後の追加を勧める。記録持参(コピーは不可)を忘れない。 ワクチンが手に入る地域なら曝露前接種は不要。米国など先進国でも哺乳類(コウモリも含めて)に咬まれるリスクの高い行動者(獣医、動物業者、洞窟探検、トンネル工事など)は3回接種を推奨。
腸チフス	1回	A型肝炎と同様に食事で感染する。インド周辺国へは必要。途上国で郊外へ行く機会があれば推奨。
4価髄膜炎	1回	米国への留学生は12歳で接種。5年毎に追加。途上国、欧州では幼児期にも接種、地域のよってはB群髄膜炎も要求される。
ダニ脳炎	3回	ダニ脳炎は、TicoVacが北海道向けに認可。 ドイツおよび以東の東欧・ロシア・中央アジアで推奨、シベリヤから北海道に達する広範囲の流行ベルト地域が存在。
黄熱	1回	アフリカ中央部、西部地域、南米ブラジル周辺地域への渡航、移動に際して必要。流行地域からの出国時に要求する国もある。国際検疫病(Yellow cardを携帯)